

平成19年度

第25回

埋蔵文化財調査資料展

盛岡を 発掘する



縄文時代早期中葉の土器(薬師社脇遺跡)



奈良・平安時代の土器(盛南地区遺跡群他)



経塚に埋納された礫石経(宿田南遺跡)



土坑墓から出土した寛永通宝と手鏡(館遺跡)

2008年

2月1日(金)▶6月22日(日)

盛岡市 遺跡の学び館

しゆくたみなみいせき
宿田南遺跡第9次調査(北夕顔瀬)

今年度は昨年度に引き続き、経石を納めた経塚、近世の土坑墓8基、盛土遺構を調査しました。経石は約32,000点出土し、そのうち文字の判読および墨の痕が確認できたのは約160点です。経石は一字一石経と多字一石経にわけられます。一字一石経にはすべて梵字が書写されていました。また、多字一石経は石の両面にすきまなく経典(法華経など)が書写されており、このようなかたちで書写された多字一石経は県内でも出土例がありません。今回発見された経塚は、東北でも類例の少ない鎌倉時代に造られた可能性が高いものです。この経塚がどのような目的(地鎮・供養等)をもって造られたのか、現段階では不明ですが、事例の少ない中世の礫石経研究の上で重要な発見であることはまちがいありません。



経塚の断面の様子

たていせき
館遺跡第20次調査(上太田)

館遺跡は戦国時代の城館「太田館」跡です。これまでの調査では、平安時代の集落跡や、戦国時代の堀跡・竪穴建物跡などが確認されています。今年度の調査では、戦国時代の堀跡2条、近世末～近代の溝跡1条、近世の土坑墓10基(うち4基は馬の墓)が確認されました。土坑墓からは寛永通宝30枚と銅製の手鏡などが見つかります。また、堀跡から出土した陶磁器片は瀬戸の灰釉平碗で、15世紀～16世紀のものと考えられます。他にも土師器・須恵器・あかやき土器が多数見つかります。今回の調査によって、太田館の構造が一部明らかになりました。



戦国時代の堀跡

つなぎこいせき
繫V遺跡第34次調査(繫)

繫V遺跡は市内でも有数の縄文時代中期(約5000～4000年前)の集落遺跡で、重要文化財に指定されている深鉢7点が出土しています。今回の調査では、縄文時代中期の土坑や柱穴が多数発見されました。発見された土坑は、入り口がせまく底が広い形の貯蔵用土坑と、楕円状に掘られた墓用の土坑の二種類に分けられ、土坑墓群の周囲に貯蔵穴群が広がっていたことが確認されています。土坑墓からは、ヒスイ製の大珠(垂飾品)2点(7×3.5cm・3×2.5cm)が発見されました。



ヒスイ製の大珠



調査区全景

～今年度調査した遺跡～



やくししやわきいせき
薬師社協遺跡第6次調査(浅岸)

今年度の調査では、縄文時代早期の竪穴住居跡や土坑、古代から中世にかけての竪穴住居跡や土坑、掘立柱建物跡などが確認されました。とくに、縄文時代早期(約8000年前～)の竪穴住居跡から大量に出土した貝殻土器や、土器と一緒に見つかった石器類は、東北地方でも出土例が非常に少なく貴重な発見です。また、これらの土器には、関東・中部地方から出土する縄文時代早期の土器の文様の特徴を示すものが含まれ、当時の文化交流を考える上で重要な手がかりとなる資料として注目されます。また、平安時代の竪穴住居跡のかまど付近からは、意図的に壊されたと思われる土師器の坏や須恵器の甕の破片が多数見つかりました。



縄文時代早期の遺物出土状況

せいなんちくいせきぐん
盛南地区遺跡群(飯岡才川・大宮北・台太郎・矢盛遺跡ほか)

盛岡南新都市整備(盛南開発)にともない、現在、多くの遺跡で発掘調査が実施されています。これまでの調査では、奈良～平安時代の集落跡を主体として、中世・近世の屋敷跡や縄文時代の遺構が見つかりました。今年度の調査で、飯岡才川遺跡(第14次)では奈良時代の竪穴住居跡や古代以降の溝跡、縄文時代の陥し穴が確認されました。大宮北遺跡(第11～14次)では平安時代の溝跡が見つかり、台太郎遺跡(第59～61次)では奈良～平安時代の竪穴住居跡や溝跡、土坑、掘立柱建物跡などが確認されました。さらに矢盛遺跡(第15～17次)では、中世以降の井戸跡や溝跡、土坑、柱穴が確認されています。これらの遺跡では土師器や須恵器を中心とした古代の土器片が多数見つかりました。



奈良時代の竪穴住居跡(飯岡才川遺跡)



平安時代の掘立柱建物跡など(台太郎遺跡)

どめきいせき
百目木遺跡第28次調査(三本柳)

百目木遺跡は奈良時代の代表的な集落のひとつです。これまでの調査で、大型の竪穴住居跡を中心にして、その周囲に中型・小型の竪穴住居跡が数棟並んでいたことが確認されており、また、かまどの煙出しを西～北方向に向けて構築していることが特徴的で、当時の蝦夷社会の様相がわかる重要な遺跡です。今回の調査では、奈良時代の竪穴住居跡2棟と古代以降の柱穴が見つかりました。竪穴住居跡からは土師器の長胴甕がほぼ完形で2個体出土しています。この長胴甕は口縁部を下にした逆さまの状態と並んで出土しました。また、鉄製の鋤先も見つかりました。



奈良時代の竪穴住居跡

盛岡市内の主な遺跡と時代

	時代	年代	市内の主な遺跡	今年度調査遺跡
原始	旧石器時代	約12,000～ 草創期	小石川遺跡(玉山区藪川)	
		約8,500～ 早期	大新町遺跡(大新町)	
		約6,000～ 前期	大新町遺跡(大新町) 館坂遺跡(前九年) 日戸遺跡(玉山区日戸) 新茶屋遺跡(山岸)	薬師社脇遺跡(浅岸) 黒石野平遺跡(黒石野) 宿田遺跡(前九年)
	縄文時代	約5,000～ 中期	上八木田遺跡(八木田) 畑遺跡(上米内)	
		約4,000～ 後期	大館町遺跡(大館町) 柿ノ木平遺跡(浅岸) 繫V遺跡(繫) 上米内遺跡(上米内) 川目C遺跡(川目) 湯沢遺跡(湯沢)	大館町遺跡(大館町) 繫V遺跡(繫)
		約3,000～ 晩期	大葛遺跡(浅岸) 落合遺跡(下米内)	
弥生・古墳	弥生時代	約2,300～	上平遺跡(猪去) 手代森遺跡(手代森) 川目A遺跡(川目) 宇登遺跡(玉山区川又)	
		約1,700～ 4～7世紀	手代森遺跡(手代森) 一本松遺跡(下米内)	
	古墳時代	約1,300～ 8世紀	永福寺山遺跡(下米内) 薬師社脇遺跡(浅岸) 上田蝦夷森古墳群(黒石野) 竹鼻遺跡(上鹿妻)	
古代	奈良時代	約1,300～ 8世紀	太田蝦夷森古墳群(上太田) 百目木遺跡(三本柳) 台太郎遺跡(向中野) 西鹿渡遺跡(三本柳) 永井古墳群(玉山区永井)	飯岡才川遺跡(飯岡) 百目木遺跡(三本柳) 西鹿渡遺跡(三本柳)
		約1,200～ 9～12世紀	志波城跡(下太田) 台太郎遺跡(向中野) 前野遺跡(浅岸) 乙部方八丁遺跡(乙部) 林崎遺跡(下太田) 稲荷町遺跡(稲荷町)	台太郎遺跡(向中野) 本宮熊堂B遺跡(本宮) 宮沢遺跡(本宮) 町田遺跡(乙部) 一本松遺跡(矢中町赤林) 薬師社脇遺跡(浅岸) 大宮北遺跡(本宮)
中世	鎌倉～ 戦国時代	約800～ 13～16世紀	落合遺跡(下米内) 里館遺跡(天昌寺町) 安倍館遺跡(安倍館町) 玉山館(玉山区玉山)	宿田南遺跡(北夕顔瀬) 矢盛遺跡(飯岡新田) 館遺跡(上太田)
		約400～140年前 17～19世紀	盛岡城跡(内丸) 南部家墓所(北山)	
近世	江戸時代	約140～60年前 19～20世紀		
近代	明治～ 昭和(初期)			

遺跡の学び館セミナー「今年度の調査報告」

～薬師社脇遺跡・繫V遺跡・宿田南遺跡・館遺跡・盛南地区遺跡群～

■日時／平成20年3月2日(日) 13:30～15:00 ■会場／遺跡の学び館 研修室(定員80名)

■講師／遺跡の学び館職員 ※入場無料・直接会場にお越し下さい。